



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.153



10月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail: kankou01@syd.odn.ne.jp

URL: <http://www.kankou-fa.jp>

2025年10月1日

「孤独のグルメ」の冒険心

副会長 大内 政男

「孤独のグルメ」俳優の松重 豊さんが主演するTV番組で原作はコミック、最近映画化された息の長い人気番組です。主人公が仕事の合間に馴染のない街の名もない飲食店を探し、その店の雰囲気や店主の人柄、食事の美味しさを伝えるという何とも他愛のない内容ですが、面白いのはスマホを一切使わず、主人公の気分、街の様子、店の佇まいなどを見て店を選び、料理を食べながら自分の選択が間違っていないかを納得していくプロセスが淡々と描かれている点です。現実の生活ではとても稀な古典的な店探しですが、この行動、私達が知らぬ間に脇に追いつてしまった旅の魅力、特に一人旅の魅力に通じるところがあるのではないのでしょうか。知らない街や山里に行き、人々と出会い、食べたい物を食べ、知らない場所に泊まる。気ままに誰にも気を遣わず時間を過ごし、食事もその日の気分、その場所の様子、その店の構えを見て自らが選択する、そういう冒険心に満ちた行動が本来の一人旅の姿ではないかと思います。

現代の「一人旅」は少々様相が違います。行くべき場所、見るべき物、おいしいレストラン、又、限られた時間内に効率よく旅するコースなど一昔前では考えられないほどの情報がスマホ一つで即座に手に入

ります。しかもほとんど外れはありません。反面この手軽さ、便利さが私達から冒険心を奪い、本来の一人旅の魅力を遠ざけているかもしれません。旅の楽しみは人それぞれですが、自分の思いで決断し、失敗は自分で受け入れ成功は自分で独り占めできる、これが一人旅の醍醐味だと思います。現代の多忙な生活にはスマホは必須ですが、頼りすぎると旅先での失敗も成功も他人任せ、折角訪れた場所の雰囲気や人々の様子など、本来、個々に抱く旅の印象も少なからずその情報に影響されてしまいます。

人はある意味、非日常を求めて旅に出ます。スマホと共にある日常にあって一人旅はそれとの距離を置く数少ない機会になり得ます。自由にその時々、状況に合わせて決断し行動する。結果ここに行ったらこれを見るべし食べるべし、を失しても他に多くの事を、他の人が知りえなかったその場所の魅力を発見し独り占めできたなら、これほど素敵な旅はありません。「孤独のグルメ」が現代人に投げかける冒険心、この冒険心に大いに魅力を感じるのには私だけではないと思います。たまにはスマホを脇に置いての一人旅、如何でしょうか。

技術委員会の活動状況とこれからの予定

技術委員会 委員長 野出木 貴夫

記録的な暑さが続いたこの夏でしたが、各技術委員会の活動はこの暑さに負けることなく活発に推進されています。各委員会・分科会に新規委員の参加も得て、新たな活動が展開しています。これまでの活動の蓄積を活かしつつ、浅野新会長を迎え新たな活動の展開を期待していききたいと思います。

【ホテル都市分科会】

「木づかい活動」推進と「新 UD 客室研究」を主軸に活動を続けています。「木づかい活動」は、昨年同様にセミナー1題と木づかい事例3件の見学会を開催しています。また能登半島被災地復興支援の一つとして能登ヒバ・サポーターの活動も進めています。一方で新 UD 客室研究は、新たなテーマ：「ロボットフレンドリー環境」研究に着手し、LINKED CITY チームと連携、さらに日本ホテル協会様のご協力も得ながら展開していると考えています。

【観光交流空間のまちづくり研究会】

当研究会はまちづくりや観光についての調査・発信を主軸に活動を行っていますが、今年度に委員の一人が山形県朝日町の森林環境に関わることになり、朝日町が他の地方都市と同様、「空き家」が増加している現状を知りました。これをきっかけとして、今年度以降ある程度の時間をかけて、朝日町に対して当研究会が何等かできることを検討していきたいと考えています。まず今年度は朝日町の調査確認と町へのアクセスを行う予定です。

【旅館観光地分科会】

テクノロジー×宿泊・観光を軸に「LINKED CITY」プロジェクトを推進し、今期は山形県朝日町での観光 DX 事例を核に展開します。地域イベント情報配信、音声 AR、物産オンライン販売などの実装に加え、林泊・農泊との連携や廃校利活用モデルにも視野に入れており、発信できればと考えております。さらに人手不足解決に向けた搬送・清掃ロボットや遠隔就労の実証も進行しており、観光 DX・人材 DX・都市 DX の融合で持続可能な地域創生を目指します

【エコ・小委員会】

エコ・小を発展させた「ウェルビーイングな地域・観光・旅館を目指す」で活動を進めます。環境先進国である北欧、ドイツを研究し、地域として再生可能エネルギー利用、食品ロス削減、人手不足問題に対応し、ウェルビーイングにすることで地域・観光・旅館の持続可能性につなげたいと考えています。具体的には余剰再生電力利用で地中熱、排湯利用ヒートポンプを動かし、食品ロスの数値化などを進め、観光庁、環境省、日本旅館協会と連携し活動していく予定です。

【インテリア分科会】

「デザイン温故知新」をテーマに、日本の伝統技術を技術者の視点で再解釈し発信しています。現場調査を通じて担い手と設計者を結び、未来のデザインへ生かすことを目指します。協会テーマ「日本を伝える」と重ね、調査対象を全国に拡大。昨年度は協会員企業を訪ね継承と変化への対応を学びました。今年度は大谷石や庵治石など日本固有素材に注目します。能登復興支援委員会と協会員（リリカラ様、中日ステンドアート様）との共同でプロダクト製作試行中です。

【耐震研究会】

ホテル・旅館の耐震改修の促進について研究を進めています。耐震化の助成金制度の調査のほか、SDGs への取り組み、BCP(事業継続性計画)の推進のほか、地震災害後の迅速な復旧を目的とした、建物のセンシング・モニタリングの研究、ドローンを用いた建物調査の研究も行っております。2月の展示会では、今年度もホテルの耐震改修の事例を紹介する予定です。

建築部会「水上セミナー2025」報告

建築部会 部会長 崎山 茂

今年の水上セミナーは夕刻に日本橋船着場を出発して日本橋川から神田川、隅田川から豊洲を巡り、橋がライトアップされる日没後に隅田川を遡上して夜8時頃にスカイツリー足下の小梅橋船着場に着くコースを初めて試みました。これまで内陸河川を巡るには潮位の低い昼前後でないと橋をくぐれなかったのですが、幅広の低床船が使えるようになったため、この時間帯の開催が可能になりました。会員以外にも多数の参加をいただいた中で、照明デザイナー戸恒浩人さんにはスカイツリーの照明計画時のエピソードを実物を見ながらご披露いただきました。次回はもう少し日の短い季節に、同様の企画を考えたいと思います。

インテリア部会新情報発信グループ

第25回研究会

「時とともに味わいを増す、著名クリエイター達を刺激する伊達冠石とは！」報告

インテリア部会 新情報発信グループ 岩井 秀行

宮城県南端の大蔵山では必要な時だけ玉石を掘り出します。

5代目の山田さんは、「ここ採石場にはダイナマイトや削岩機の音はなく、聞こえるのは鳥の鳴き声だけです」。初代は兵庫高砂の石積みの技師で明治になって仙台大橋の橋脚の石積み指導のため宮城へ。伊達冠石は中は墨色の緻密な石目で表面は鉄分と海水で黄色い土となったものです。

その日本的わびさび感から海外からの依頼と外資ホテルのレセプションカウンターやテーブルになります。



インテリア分科会 調査会 「大谷石採掘場調査会」報告

インテリア分科会 分科会長 内田 幸子

インテリア分科会では、伝統的技術の継承についての調査をしてきました。今年度はその中でも日本固有の伝統的素材に注目して見ることになりました。木・紙・布・石・鉄・土・・・その他いろいろな素材がありますが、その第一回の調査目的地として7月に「大谷石」の産地である栃木県宇都宮市大谷に行ってきました。かつては大谷石は地域の主産業であり最盛期（昭和30～40年代）従事者は数千人規模。宇都宮の基幹産業のひとつでした。現在は日本遺産認定（2018年）をうけて「大谷石文化が息づくまち宇都宮」として歴史・文化資産をパッケージ化。国からの後押しで観光振興を進めています。

大谷石の採掘場跡の大屋資料館、大谷石産業工場と採掘場でお話を伺い、大谷石を使った建物：カトリック松が峰協会・宝積寺駅をまわりました（協会員：松下産業さんのご紹介で、当地で大谷石を扱っている大谷石産業さんにご案内いただきました。）大変暑い日でしたが、地下の採掘場はひんやりと寒いほどでした。詳しくは季刊誌で発表致します。



設備部会

「TODA BUILDING」見学会」報告

設備部会 部会長 藤野 健治

7月23日に「TODA BUILDING」の見学会を参加者13名で開催しました。本建物は、戸田建設株式会社が京橋の地で行った旧本社ビルの建替え計画です。

「人と街をつなぐ」をコンセプトとし、「まちに開かれた芸術・文化拠点の形成」「街区再編、防災対応力の強化、環境負荷低減」を目指した建物で、超高層複合用途ビルとして建物全体で日本初のZEB-Ready認証を取得しています。機能性の高い外装、脱炭素・BCP計画、次世代型オフィスビルとしての機能など、参考になる情報が盛り沢山の建物でした。

見学の後は、懇親会場に移動して情報交換を行うとともに会員間の懇親を深めることが出来ました。

国際ホテル・レストラン・ショー

HCJ2026 案内

ホテレス実行委員会 委員長 末森 憲義

2026年2月17日（火）～20日（金）の4日間、東京ビックサイト西展示場にて「第54回 国際ホテル・レストラン・ショー」が開催されます。当協会は、ブース出展とホスピタリティデザインセミナーを主催し、5万人が訪れるこのイベントを通じて、協会活動の成果を社会に対して発信します。

昨年のホテル展は満席のセミナーが出るなど、皆様のご協力により例年を上回る聴講者数で大変好評の内容となりました。

長期的な総合テーマ「ホスピタリティのくに 日本を伝える」のもと、近年の旺盛なインバウンド需要に応える外資系ラグジュアリーホテルから、まだまだ途上の能登半島被災地復興支援講演まで、俯瞰的で多視点な視座のもと、公益社団法人としての活動を展開します。最新のホテル開発秘話やデザインの潮流を感じ、また、美しい能登の観光や暮らしの復興の手助けに思いを馳せて頂けるよう、鋭意準備しております。

ブース展示の会場にはセンタープラザを設置します。出展参加企業のPRが可能なショートセミナーの枠を用意しますので、是非ご活用下さい。また、今年もサロンを開催します。ワインと軽食を楽しんで頂き、情報交換の場として大いに利用願います。

既に会員の皆様には、お手元に「協会ブースへの参加申し込みのお願い」（参加申込書）が届いていると思います。

参加形式は費用に応じて

- ① テーマ展示参加
 - ② QRコードポスター参加
 - ③ 社名参加
- の3種類です。

ホテル展は皆様の参加に支えられて活動しております。会員企業の皆様には参加によるご支援をお願いするとともに、会場でお会いできることを心より楽しみにお待ちしております。どうぞ宜しくお願い致します。



←2025年2月のセミナー及び展示の様子
<https://hcj.jma.or.jp/seminar/>

12月4日(木)忘年セミナーのお知らせ

「ホテル経営基礎講座～もてなしだけではもう食えない～」

立教大学観光学部特任教授 沢柳知彦氏 登壇決定!!

事業委員会 委員長 岡野 正人

<忘年セミナー>

12月4日(木)16:00から。忘年セミナーを開催します。今年は、立教大学観光学部特任教授の沢柳知彦氏をお招きし「ホテル経営基礎講座～もてなしだけではもう食えない～」と題してご講演頂きます。JLLに居られた沢柳氏は、マンダリンオリエンタルやリッツカールトンなど海外の超高級ブランドを日本に誘致されたことで知られています。まずは、ご専門のホテルマネジメントの基礎について語って頂いて、ホテル・ハード面の施設計画でも経営者目線の重要性を説いて頂きます。乞うご期待!!

<忘年交歓会>

今年も、空くじ無しの“福引大会”で盛り上げます。音楽の生演奏も加わり、華やかで楽しい忘年交歓会を実行する予定です。乞うご期待!!

会員の皆様には、景品のご寄付をお願いする次第です!!景品も宜しくお願い致します。

今年は、全日本ホテル協会との共催で行います。

第119回HOP会 案内

HOP会 会長代行 杉浦 司

国際観光施設協会の春のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日時：令和7年11月18日(火)
コース：狭山ゴルフ・クラブ
プレイ費：約20,010円
(キャディ付、食事別途) 各自精算
会費：5,000円(パーティー費含む)

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。

会員の皆様の親睦の場として、お誘いあわせのうえ、多くの参加をお待ちしております。

☆新入会員紹介☆ (申込順)

【賛助会員】

華為技術日本株式会社

(ファーウェイギジュツニホン)

(代表者)代表取締役社長 李 飛

(担当者)法人ビジネス&ディストリビューション営業本部 澤 麗夏

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-5-1

大手町ファーストスクエア ウェストタワー 12 階

TEL03-6266-8008 FAX03-6266-8000

営業内容：総合 ICT メーカー、ネットワークインフラ

【賛助会員】

佐々木譲写真事務所

(代表者・担当者)佐々木 譲

〒243-0431 神奈川県海老名市上今泉 4-15-12-4

TEL090-2337-0801

営業内容：撮影(動画・写真)、素材提供

【正会員/個人】

鈴木 裕幸

ヒロユキスズキスタジオ合同会社

〒112-0001 東京都文京区白山 4-1-12-310

TEL080-5525-8168 FAX 03-5684-8168

営業内容：建築の設計監理、デザインCM業務、PM業務、音楽スタジオ

【正会員/製造業・販売業】

竹市株式会社/株式会社鹿田産業

(代表者・担当者)代表取締役 鹿田 和正

〒843-0114 福岡県八女郡広川町太田 428

TEL0943-32-1141 FAX 0943-32-3500

営業内容：室内装飾品製造・卸売業

編集後記

9月に2週間ほどイギリスに滞在してまいりました。といっても、旅というわけではなく、「すぐまた戻って来れる」と思っていたイギリスに気がついたら25年も時間が過ぎていたので、「どんな様子か見に」視察という名目で、場所を変えて通常業務行いつつ、過ごしてきました。

【百聞は一見にしかず】という諺を何度となく唱えつつ、自分の感覚と感性を大事に、体験することの大事さを改めて感じました。

イギリスではAirBnbで見つけた黒人女性の暮らす家にホームステイをしていたので、今回は有名どころのホテルに何泊かできるぐらいの余裕を持っていけるようにしたいところです。

平野智子